かすみがうら市地域公共交通活性化・再生総合事業計画

平成23年3月

かすみがうら市

1. 地域公共交通総合連携計画の名称

かすみがうら市地域公共交通総合連携計画

2.かすみがうら市地域公共交通活性化・再生総合事業計画の目的

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号)第5条に基づくかす みがうら市地域公共交通総合連携計画の円滑かつ確実な実施を確保するため、同計画において実 施することとされた事業の円滑かつ確実な立ち上げについて、同計画の計画期間の当初3年間に おいて、特に、同法第6条に基づく協議会が、地域公共交通活性化・再生総合事業による支援を 活用しつつ、取り組むこととする事業について、かすみがうら市地域公共交通活性化・再生総合 事業計画(「総合事業計画」)として以下のとおりとりまとめ、計画的かつ効率的・効果的な実行 を確保することを目的とする。

3. 総合事業計画の全体事業計画

(1)全体事業計画の目標

(目標)

本市における地域公共交通の基本的な方針として、既存の交通システムと連携した効果的で利便性の高い公共交通システムの導入、来訪者のモビリティ向上による二次交通の充実を図り、観光振興や地域の活性化等のまちづくりに寄与、地域公共交通会議を軸として、市民の多様な参画や地域のニーズ把握に努めながら、関係者間の合意形成を図り、地域が検討や計画を協働で行うことができる機会の提供と共通認識、さらには公共交通の重要性といった意識の醸成等を基本とし、持続可能な交通システムの確保に向け、公共交通を幹線・支線に機能分担を図り、市民が利用しやすい効率的な公共交通ネットワークを整備するとともに、協働の取り組みにより既存公共交通の利用促進を図る。

(評価事項)

- 市街地の一体的連携
- ・公共交通不便地域の解消
- ・千代田地域と霞ヶ浦地域との公平性確保
- ・病院、買物等へのアクセス向上等住民の生活の質的向上
- ・行政コストの抑制
- ・路線バスの活性化
- ・住民の公共交通の利便性等に対する満足度の向上
- ・観光客の足の確保による回遊性の向上と地域の活性化

(2) 全体事業計画の事業スケジュール

以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印 (←→)、または横棒線 (———) で記載。

	平成22年度			平成23年度			平成24年度					
事業の名称	4月	9月	12 月	3 月	4月	9月	12 月	3 月	4月	9月	12 月	3 月
デマンド型乗合タク			実調	証運行						本格	運行	
シー												
シャトルバスの運行			実調	正運行						本格	運行	
(観光シャトルバス含む)												
乗継拠点におけるバ										バス作	亭整備	
ス停設備の充実												
簡易型バスロケーシ										設[置	
ョンシステムの導入												
バリアフリー化の推					神:	立駅等へ	案内情報の)提供				
進												
運賃制度の改善		乗組	迷運賃制度	度の導入								
利用促進方策の実施					マッ	プ、WEI	3 サイトの	作成				

(3) 全体事業計画の事業費等 総事業費 国費 地域の負担 事業の名称 (見込み) (見込み) (見込み) デマンド型乗合タク シー 72,050千円 36,025千円 36,025千円 シャトルバスの運行 44,750千円 22, 375千円 22, 375千円 乗継拠点におけるバ ス停設備の充実 28,000千円 14,000千円 14,000千円 簡易型バスロケーシ ョンシステムの導入 1,200千円 600千円 600千円 バリアフリー化の推 250千円 500千円 250千円 乗継運賃の導入 0千円 0千円 0千円 (運行経費に含む) (運行経費に含む) (運行経費に含む) 利用促進方策の実施 2,000千円 1,000千円 1,000千円 148,500千円 74,250千円 74,250千円 小計

4. 総合事業計画の各年度事業計画

4-1. 初年度(平成22年度)事業計画

(1)事業計画の概要(目標)等

事業の名称	事業の概要(目標)	実行主体	評価事項
デマンド型乗合タ	・千代田地域への運行拡大	かすみがうら市	・市街地の一体的連携
クシー	とサービス水準の向上を図	美並タクシー	・病院、買物等へのアクセス向
	る。	千代田タクシー	上等住民の生活の質的向上
シャトルバスの運	・現在運行中の乗合タクシ	かすみがうら市	・行政コストの抑制
行	ーのルートを再編成し、域	バス事業者	・千代田地域と霞ヶ浦地域との
	外交通は幹線交通が担うも		公平性確保
	のとしてシャトルバスの運		・観光客の足の確保による回
	行を図る。		遊性の向上と地域の活性化
乗継運賃の導入	・市民全体に便利な公共交	かすみがうら市	・住民の公共交通の利便性等に
利用促進方策の実	通運行の周知を図り、潜在	交通事業者(バス、	対する満足度の向上
施	需要の喚起と利用の促進を	タクシー)	・観光客の足の確保による回遊
	図る。		性の向上と地域の活性化

(2)事業費等

	総事業費	国費	地域の負担
事業の名称	(見込み)	(見込み)	(見込み)
デマンド型乗合タ			
クシー	20,560千円	7,722千円	12,838千円
シャトルバスの運			
行	8,150千円	3,060千円	5,090千円
乗継運賃の導入	0千円	0 千円	0 千円
	(運行経費に含む)	(運行経費に含む)	(運行経費に含む)
利用促進方策の実			
施	350千円	131千円	219千円
小計	29,060千円	10,913千円	18,147千円

4-2. 2年度(平成23年度)事業計画

(1)事業計画の概要(目標)等

事業の名称	事業の概要(目標)	実行主体	評価事項
デマンド型乗合タ	・千代田地域への運行拡大	かすみがうら市	市街地の一体的連携
クシー	とサービス水準の向上を図	美並タクシー	・病院、買物等へのアクセス向
	る。	千代田タクシー	上等住民の生活の質的向上
シャトルバスの運 行	・現在運行中の乗合タクシーのルートを再編成し、域外交通は幹線交通が担うものとしてシャトルバスの運	かすみがうら市バス事業者	・行政コストの抑制・千代田地域と霞ヶ浦地域との公平性確保・観光客の足の確保による回遊性の向上と地域の活性化
バリアフリー化の 推進	・すべての人に利用しやすい公共交通とするため、主要なバス停での案内情報の提供などを促進する。	バス事業者 かすみがうら市	・路線バスの活性化・住民の公共交通の利便性等に対する満足度の向上
乗継運賃の導入	・市民全体に便利な公共交	かすみがうら市	・住民の公共交通の利便性等に
利用促進方策の実	通運行の周知を図り、潜在	交通事業者(バス、	対する満足度の向上
施	需要の喚起と利用の促進を 図る。	タクシー)	・観光客の足の確保による回遊性の向上と地域の活性化

(2)事業費等

(二) 于水及 (
	総事業費	国費	地域の負担
事業の名称	(見込み)	(見込み)	(見込み)
デマンド型乗合タ			
クシー	41,120千円	20,560千円	20,560千円
シャトルバスの運			
行	16,300千円	8,150千円	8,150千円
バリアフリー化の			
推進	50千円	25千円	25千円
乗継運賃の導入	0千円	0千円	0千円
	(運行経費に含む)	(運行経費に含む)	(運行経費に含む)
利用促進方策の実			
施	3 2 0 千円	160千円	160千円
小計	57,790千円	28,895千円	28,895千円

4-3.3年度(平成24年度)事業計画					
(1)事業計画の概要(目標)等					
事業の名称	事業の概要(目標)	評価事項			
デマンド型乗合タ	・千代田地域への運行拡大	かすみがうら市	・市街地の一体的連携		
クシー	とサービス水準の向上を	美並タクシー	・病院、買物等へのアクセス向		
) I I NOW	図る。	千代田タクシー	上等住民の生活の質的向上		
シャトルバスの運 行	・現在運行中の乗合タクシーのルートを再編成し、域	かすみがうら市 バス事業者	・行政コストの抑制 ・千代田地域と霞ヶ浦地域との		
11	外交通は幹線交通が担う	ハク争未任	公平性確保		
	ものとしてシャトルバス		観光客の足の確保による回		
	の運行を図る。		遊性の向上と地域の活性化		
乗継拠点における	・乗継拠点における快適	かすみがうら市	・路線バスの活性化		
バス停設備の充実	性、利便性の向上を図り、	バス事業者	・住民の公共交通の利便性等に		
	路線バスへの利用促進を		対する満足度の向上		
簡易型バスロケー	図る。 ・主要バス停での利便性の	かすみがうら市			
間勿空ハヘロケーションシステムの	「主要ハヘ厚くの利便性の 向上を図り、路線バスへの	バス事業者			
導入	利用促進を図る。				
バリアフリー化の	すべての人に利用しやす	バス事業者			
推進	い公共交通とするため、主	かすみがうら市			
	要なバス停での案内情報				
五州で任の道 1	の提供などを促進する。	1. 1. 1. 1. 2. 2. 1. 1. 1. 1. 2. 2. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	と口のハルカスの利用地放け		
乗継運賃の導入 利用促進方策の実	・市民全体に便利な公共交通運行の周知を図り、潜在	かすみがうら市 交通事業者(バス、	・住民の公共交通の利便性等に 対する満足度の向上		
利用促進力束の美 施	需要の喚起と利用の促進	タクシー)	・観光客の足の確保による回遊		
))E	を図る。	,	性の向上と地域の活性化		
(2)事業費等	-	,			
	総事業費	国費	地域の負担		
事業の名称	(見込み)	(見込み)	(見込み)		
デマンド型乗合タ					
クシー	41,120千円	20, 560	千円 20,560千円		
シャトルバスの運					
行	16,300千円	8, 150	千円 8,150千円		
乗継拠点における					
バス停設備の充実	28,000千円	14,000	千円 14,000千円		
簡易型バスロケー					
ションシステムの	1,200千円	6 0 0	千円 600千円		
導入					
バリアフリー化の 推進	50千円	2.5	千円 2 5 千円		
乗継運賃の導入	0千円		千円 0 千円		
小型を見って守い	(運行経費に含む)	(運行経費に含			
利用促進方策の実					
施	3 2 0 千円	1 6 0	千円 160千円		
小計	86,990千円	43, 495	千円 43,495千円		